

分科会の発表について（演題募集テーマ）

大会の分科会の発表演題を募集いたします。

大会のテーマ「集え！認知症ケアの未来のために ～地域拠点としての役割を考える～」及び大会趣旨（開催案内1ページ目に記載）に基づき、全国の実践や研究をまとめた発表を募集いたします。また、次回大会におきまして、この発表の中から優れた内容のものを選定し、優秀奨励賞、奨励賞として発表します。皆様の事業所での実践を、全国の舞台上で発表されることを大いに期待いたします。

●分科会

番号	演題募集テーマ：演題の趣旨・背景	キーワード
1	グループホームは、認知症施策大綱などで「地域における認知症ケアの拠点」としての役割が期待されています。認知症カフェや認知症伴走型支援、よろず相談所など皆さんが工夫されて取り組まれていることをお聞かせください。	地域拠点、認知症カフェ、認知症伴走型支援、よろず相談所、地域連携
2	新型コロナの影響で地域の方との交流が難しくなっていますが、その中でもご利用者お一人お一人がその人らしく暮らしていただく為大変ご苦労されていることと思います。どのようにしてその人らしさを支えているのか教えて下さい。	認知症ケア、生活支援、権利擁護、虐待防止
3	BCP（事業継続計画）作成が義務化され令和6年3月までに完成しなければなりません。様々な災害が発生した時には地域や他事業所との連携が大切になってくると考えられます。普段の訓練でも地域の方との協力関係を築くことが必要ですが、皆様の取り組みを教えてください。	事業継続計画、災害対策、感染症対策、リスクマネジメント
4	主治医や専門医との連携、医療連携体制加算による看護師との連携、その他管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士など様々な他職種との連携による加算があります。ご利用者の健康を守る為、また効率良く加算を取得する為に工夫されていることを教えてください。	医療連携、看取り、重度化対応
5	介護の仕事は、大変やりがいのある仕事だと感じる反面、様々なストレスや疲労により心半ばにして辞めてしまう人が多い職種です。皆様の事業所で「職員が生き生きと働ける」そんな取り組みがあれば教えてください。	人材確保（人材育成）、人材定着、ストレスマネジメント
6	上記の分類に当てはまらない実践や研究、また独自の視点から行なった取り組みを発表してください。	1～5に含まれない、各施設での特徴ある取り組み、行事、レクリエーション、生産性向上（ICT/ロボット/文章量削減）など

※ご提出いただいた抄録を査読させていただいた後、分科会会場Ⅰ～Ⅵに振り分けさせていただきます。なお、**演題テーマ番号（上記1～6）と、実際の分科会会場番号（分科会会場Ⅰ～Ⅵ）は必ずしも一致しませんのでご注意ください。**特定の演題テーマ番号への申込が多い場合、同一演題テーマの発表が複数の分科会会場にまたがって発表される場合があります。

※演題発表するほどではない「自慢できること」や「失敗から学んだこと」などのグループホーム「あるある」を気楽に発表できる「我が現場 自慢話や失敗談」企画もありますのでそちらもご参加ください（7ページ参照）

分科会発表募集について

I. 発表形式等について

分科会の発表は、今回大会では各発表時間を10分、質疑応答時間を5分とし、十分な時間を取って学び、交流できるよう配慮しました。また、分科会の発表が優位であるなどというのではなく、提出いただいた抄録原稿を実行委員会担当部門が査読し、適切な発表形式に振り分けさせて頂くものです。

同一の分科会テーマが多い場合は、分科会を複数会場に振り分けさせて頂く事もありますのでご了承ください。

	分科会発表
形式内容	分科会発表はパワーポイントなどを使用して研究成果を直接説明していく発表形式です。
発表時間	準備・発表 10分以内 質疑 5分
使用機材	パワーポイントのみ
その他	申込者多数で定員に達した場合は、早期に締め切る場合があります。予めご了承ください。

分科会発表の発表要領

- 応募資格：本大会参加者であること（別途大会参加手続きを必ずして下さい）
- 費用：資料作成費、郵送料、参加費、旅費、宿泊費など、全て自己負担となります。
- 発表申込の締切：令和4年7月15日（金）必着（定員に達した場合は早期に締め切ることがあります）
- 発表の申込方法：大会サイトの「演題申込」より直接お申し込みいただくか、「分科会発表申込書」をダウンロードしていただき、Eメールにて大会事務局へお申込みください。

大会サイト <http://www.ghkyo-mie.jp/16334237379710>

①上記の大会サイトへお進みください。



②“演題申込”より申込書をダウンロードしてください。



③必要事項をご記入のうえ、Eメールにて大会事務局へお申込みください。

E-mail : ghkyo.mie.bunkakai@gmail.com

↓ ★令和4年7月15日（金）必着

（申込書のみを先に提出していただいても結構です。但し、抄録原稿は必ず7月15日までにご提出ください）

④発表の採択の可否につきましては、令和4年8月上旬頃までに、ご案内させていただきます。

*当日の発表順番・会場の詳細につきましては、発表申込みいただいた方に個々に別途ご案内させていただきます。

*発表の採否につきましては、大会テーマ、趣旨に沿った選考をさせていただきます。発表の採否につきましては、大会実行委員会にご一任願います。

*発表された演題は日本認知症グループホーム全国大会演題表彰の対象になります。



抄録原稿について

抄録原稿の提出について

- ・分科会発表の抄録は、大会要覧に掲載し分科会参加者に配布いたします。発表者は全員必ず下記の要領に従い準備していただくようお願いいたします。
- ・分科会発表の抄録原稿は必ず提出して下さい。

●抄録の様式と申込方法

大会サイト「演題申込」に進み、「抄録原稿用紙」をダウンロードしていただき、E-メールにて大会事務局へお申込みください。

大会サイト <http://www.ghkyo-mie.jp/16334237379710>

①上記の大会サイトへお進みください。



②抄録原稿用紙をダウンロードしてください。



③下記の注意事項を参照のうえ作成していただき、E-メールにて大会事務局へお申込みください。



E-mail : ghkyo.mie.bunkakai@gmail.com

★令和4年7月15日（金）必着

(先に申込書を提出いただき、「原稿作成ポイント解説動画」をご覧いただいた後に抄録原稿を提出いただいても結構です。)

抄録原稿の書き方や、発表動画スライド作成のポイント解説動画について

- ・認知症介護研究・研修東京センター研修部長中村考一先生による「ポイント解説動画」を用意いたしました。
- ・6月上旬頃に大会ホームページに掲載いたします。
- ・解説動画をご覧いただいた後に7月15日までに抄録原稿を作成してご提出ください。

抄録の書き方

- ・抄録原稿は抄録原稿見本（P12）を参考にルールを守って作成して下さい。
- ・抄録原稿は提出いただいた原稿をそのまま使用します。
- ・抄録は1演題1ページとし、様式の変更は不可とします。
- ・フォントはMS明朝体とします。
- ・見本のように「演題」を16ポイント下線付き、「副題」を13ポイント、「都道府県名・市町村名」・「施設名」・「職種・発表者」・「共同研究者名（いる場合）」をそれぞれ12ポイントで、必ず見本どおりの位置に記載してください。
- ・取り組みと最も関係のあるキーワードを必ず3つ、重要度順に記載してください。
- ・本文は10ポイントで記載し、2段で段組みし、一行を全角23文字とします。また行数は32～39行（全部で約1,500字～約1,800字）で構成してください。もし図表を入れる場合も必ずこの範囲で収めてください。
- ・本文は見本のように、原則として（取り組み課題）（倫理的配慮）（具体的取り組み）（活動の成果と評価）（今後の課題）（参考文献）等で構成し、これらの見出しを見本のように左寄せで入れてください。
- ・タイトルは、発表の内容を表すものにしてください。「〇〇さんから教わったこと」など抽象的で内容を示さないものは控えてください。

発表について

発表の方法

- ・発表時間は、一人当たり10分（準備・発表）です。
- ・発表の研究や取り組みは完成したことや成果の出たものにかかわらず、結果の出なかったもの、失敗したこと、解決できないことでもかまいません。発表の課題が全国の仲間も抱えている事案なら、ともに悩み努力している人がいることを知り、取り組んでいる過程を共有するだけでも、その後の活動の大きな支えとなるでしょう。
- ・発表は、パワーポイントを用いて説明を行うことを原則とします。
- ・発表用のパソコンは、事務局で準備します。**発表用データの提出方法については、発表申込みいただいた方に別途ご案内申し上げます。**
- ・本大会で使用する発表用パソコンのOSは、Windows10です。
- ・データは、Windowsで作成した、Microsoft PowerPoint 2019ファイルまでとします。Macintoshには、対応していません。
- ・スライドは、目安として10枚程度とします。
- ・発表者は、演台に設置していますキーボード、マウスで操作していただきます。
- ・発表者は、制限時間を守り、円滑な進行に協力してください。

参加者と共有しやすいスライドの作り方について

- ・通常プレゼンテーションで使用されるスライド数は1分1枚が標準とされています。発表時間が10分の場合は、スライドは10枚程度が目安となります。
- ・発表に使用するスライドは、会場の出席者に見てもらい理解を深めるためのものです。見えないような小さい字や表は無意味ですし、参加者の皆さんにとっても残念なものです。また、じっくりと読んでやっと理解するものではなく、目で見で一瞬で理解できるよう、長々とした文章ではなく、口頭発表の概要を簡潔に箇条書きで表現してください。説明の全てを盛り込もうとすると、かえって理解の妨げとなります。
- ・そのページのタイトルを一回り大きな文字で一行目に記載し、その下の文章は10行以内くらい、タイトルは、38ポイント以上、スライドの中の文字は24ポイント以上が目安です。
- ・表やグラフは読み取るまでに多くの時間が必要となるので、表やグラフの多用は避けてください。表やグラフを用いる場合は、表内の字などが十分な大きさになるように注意してください。
- ・演題に直接関係ない環境紹介や施設紹介だけを目的とするようなスライドは、必要ありません。

